

デンマークが誇る、個性豊かな作曲家

カール・ニルセン

Carl Nielsen (1865–1931)

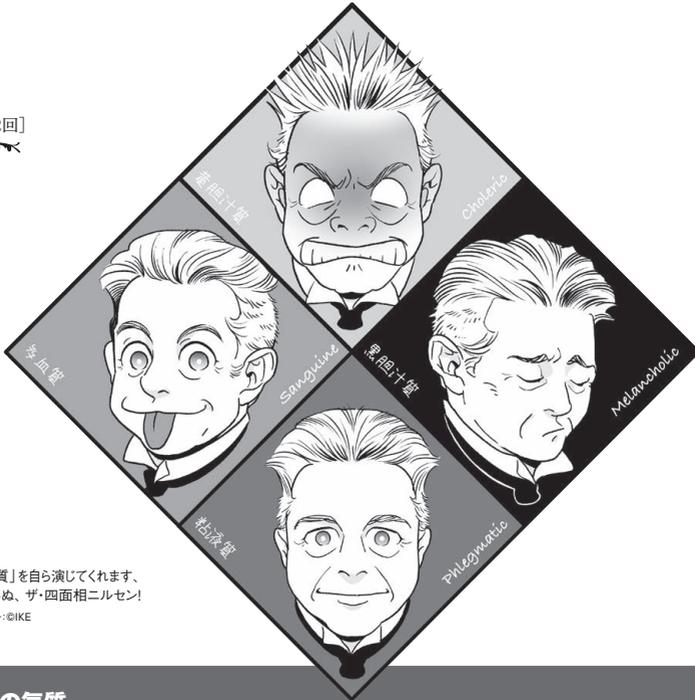
1865年デンマーク生まれのニルセンは、同年にフィンランドで生まれたシベリウスとともに北欧を代表する作曲家のひとり。貧しくも音楽と愛情にあふれる家庭、そしてのどかな自然のなかで成長したニルセンは、クルクルと変わる表情も賑やかな少年だったようだ。ニルセンの音楽創作の原風景はこの頃にあると、のちに彼自身が語っている。交響曲は6作遺されており、本日の《交響曲第2番》は、遊び心に満ちている。

B

2024

MAY

[第2012回]



「4つの気質」を自ら演じてくれます、
百面相ならぬ、ザ・四面相ニルセン!

イラストレーション: ©IKE

4つの気質

古代ギリシアの医師ヒポクラテスらは、人間の体液には血液・粘液・黄胆汁・黒胆汁の4種類があるという「四体液説」を唱えており、この体液の量のバランスによって生じるのが人間の「4つの気質」、すなわち「短気な黄胆汁質」「冷静な粘液質」「憂鬱な黒胆汁質」「楽天的な多血質」であると考えられていた。ニルセンはここからヒントを得て《交響曲第2番》のモチーフにしたという。